

H.323 シグナリング インターフェイス (HSI) のオーディオコーデック設定

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[H.245 のサポートされたコーデック パラメータ](#)

[H.245 ターミナル機能コーデック パラメータ](#)

[H.245 チャネル コーデック パラメータ](#)

[H.245 モード](#)

[オーディオコーデック 設定](#)

[デフォルト設定](#)

[追加コーデック 設定例](#)

[MML のオーディオコーデック G.729 の設定例](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、H.245 の複数の音声のコーデックを使用できるように H.323 シグナリング インターフェイス (HSI) を設定する方法について説明します。HSI で使用されるデフォルトのコーデックは、しばしば、VoIP を実行する既存ネットワークと相互対話するための H.323 付属物 (HSI) を搭載した Cisco コール制御ソリューションには十分ではありません。シスコは、HSI が G.711 以外のコーデック使用できるようにするために必要な手順について説明します。

この序資料はこの情報が使用されるかもしれない実際のシナリオを解説している件名の説明およびコンテキスト 情報を提供したものです。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- 提供彼の ([関連情報セクション](#)を参照して下さい)
- H.323 プロトコル 推奨事項-国際電気通信連合 (ITU)

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- 彼のバージョン 2.21 および 4.1

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

H.245 のサポートされたコーデック パラメータ

H.245 制御信号は交換 制御 メッセージへの各コールの間に使用されます。コールが確立される前に、H.323 エンドポイントの機能は交換されます。H.323 プロトコル仕様からオーディオコーデック サポートはそれが H.323 規格によって提供される最小サービスであるので必須です。すべての H.323 端末はサポートされる G.711 である少なくとも 1 オーディオコーデックがなければなりません。G.722、G.728 および G.729 のような追加コーデック サポートはオプションです。現時点で彼の RFC 1890 の外部で定義されるダイナミックコーデックタイプ (G.729 別館タイプ) をサポートしません。彼のまた G.723.1 をサポートします

H.245 ターミナル機能コーデック パラメータ

パラメータ名	タイプ
caps.table [i] .entryNo	INTEGER(1、 65535)
caps.table[i].audio.g711Alaw64k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g711Alaw56k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g711Ulaw64k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g711Ulaw56k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g722at64k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g722at56k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g722at48k	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g728	INTEGER(1、 256)
caps.table[i].audio.g729	INTEGER(1、 256)

H.245 チャネル コーデック パラメータ

パラメータ名	タイプ
chan [i] .name	String
chan[i].audio.g711Alaw64k	INTEGER(1、 256)
chan[i].audio.g711Alaw56k	INTEGER(1、 256)
chan[i].audio.g711Ulaw64k	INTEGER(1、 256)
chan[i].audio.g711Ulaw56k	INTEGER(1、 256)
chan[i].audio.g722at64k	INTEGER(1、 256)

chan[i].audio.g722at56k	INTEGER(1, 256)
chan[i].audio.g722at48k	INTEGER(1, 256)
chan[i].audio.g728	INTEGER(1, 256)
chan[i].audio.g729	INTEGER(1, 256)

H.245 モード

パラメータ名	タイプ
モード[i].name	String
modes[i].audio.g711Alaw64k	NULL
modes[i].audio.g711Alaw56k	NULL
modes[i].audio.g711Ulaw64k	NULL
modes[i].audio.g711Ulaw56k	NULL
modes[i].audio.g722at64k	NULL
modes[i].audio.g722at56k	NULL
modes[i].audio.g722at48k	NULL
modes[i].audio.g728	NULL
modes[i].audio.g729	NULL

オーディオコーデック 設定

H.323 規格に関して G.711 をサポートすることはただ必須です。従って、G.711 はのデフォルトオーディオコーデックなのです。別のコーデックを使用したいと思う場合それを設定しなければなりません。h245.caps.table[x].audio および h245.chan[x].audio フィールドの値は選択されたコーデックからの可聴周波機能を表しています。可聴周波機能はパケットごとの最大フレーム、パケットごとのないミリ秒数またはバイトを記述する整数値情報です。

G.711 は 8 つのサンプルのフレーム上の 8000 のサンプル毎秒の ITU 推奨事項を用いるサンプルベースのコーデックです。G.711 は (1 フレームで) スピーチの 1 ms を表します。G.729 はフレームベース G.711 と比較され、(1 フレームで) スピーチの 10 ms を表します。これは yy 値 (下記参照) に実際に H.323 エンドポイントが持っている機能のための乗数である導きます。

たとえば、EP がパケットごとのオーディオの 20 ms 価値を受け取ることができれば、G.711 の yy 値は 20、G.729 のための 2 です。他のコーデックに関しては、[ITU 推奨事項](#)を参照して下さい。

デフォルト設定

```

h245.caps.table[1].audio.g711Ulaw64k      = 20
h245.caps.table[1].entryNo                = 7111
h245.caps.table[2].audio.g711Alaw64k     = 20
h245.caps.table[2].entryNo                = 7110

h245.chan[1].audio.g711Alaw64k           = 20
h245.chan[1].name                        = g711Alaw64k
h245.chan[2].audio.g711Ulaw64k           = 20
h245.chan[2].name                        = g711Ulaw64k

h245.modes[1].audio.g711Alaw64k         =

```

```
h245.modes[1].name = g711Alaw64k
h245.modes[2].audio.g711Ulaw64k =
h245.modes[2].name = g711Ulaw64k
```

追加コーデック 設定例

```
h245.caps.table[x].audio.name = yy
h245.caps.table[x].entryNo = zz

h245.chan[x].audio.name = YY
h245.chan[x].name = name

h245.modes[x].audio.name =
h245.modes[x].name = name
```

X つは 1 と 20 間の有効な番号と取替える必要がある配列インデックス[x]です。それは設定で連続的、ユニークである必要があります。yy は特定のコーデックが ITU ごとにサポートできるパケットごとの帯から得られるフレーム乗数です。zz はアプリケーションのコーデックを識別するために選択される数です。有効範囲に関しては、この資料の [H.245 Terminal Capability Codec セクション](#)を参照して下さい。

MML のオーディオコーデック G.729 の設定例

```
prov-sta::srcver="active",dstver="Add_Codec_G729"
prov-add:name="H245",caps.table[4].audio.g729="2"
prov-add:name="H245",caps.table[4].entryno="729"
prov-add:name="H245",chan[4].audio.g729="2"
prov-add:name="H245",chan[4].name="g729"
prov-add:name="H245",modes[3].audio.g729=""
prov-add:name="H245",modes[3].name="g729"
prov-cpy
```

関連情報

- [ダウンロードして下さい彼のリリース \(登録ユーザのみ\)](#) を
- [PGW2200 に関するテクニカルノート](#)
- [PGW2200 のための設定例](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声と IP 通信製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)